

# 兵庫たんば ワクワク・パクライト

♪ HYOGO TAMBA WAKU PAKU RIDE ♪



秋の丹波地域で「ワクワク(体験)」と「パクパク(食)」を楽しむサイクリング!

開催

2022年10月16日(日)  
兵庫県丹波篠山市、丹波市

募集人数 100名 ※定員になり次第、受付終了となります。

参加費 8,000円  
◎消費税、傷害保険料、食費(昼食及び飲食物)体験費用  
記念品を含みます  
※お申し込み後の取り消しや当日のキャンセル、および荒天、新型コロナウイルス感染拡大などによる大会中止時の参加費の返金はいたしませんのでご了承ください。

参加資格 18歳以上  
◎大会規則・交通規則・マナーを遵守できる者  
◎誓約書の内容を了承した者

申込期間 2022年8月16日(火)～10月2日(日)  
※締め切り日前でも定員になり次第、受付を終了いたします。

スタート/ゴール 兵庫県立丹波並木道中央公園サイクルステーション 総走行距離68.6km  
(兵庫県丹波篠山市西古佐90)

注意事項 ◎本大会はタイムを競うレースではなく、食や体験を楽しむサイクリングイベントです。  
コース上は一般車両の交通規制をいたしませんので、一時停止、赤信号での停止などの基本的な交通規則を遵守し、追走・並走・割り込みなどはしないでください。各ポイントに制限時間を設けています。時間を超えた場合はタイムオーバーとなり、続行できない場合がありますので、予めご了承ください。

兵庫たんば ワク・パクライトは、兵庫県の丹波地域(丹波篠山市・丹波市)の魅力を満喫していただく食や体験を楽しむライドイベントです。  
当日は5～6人程度のグループに分かれて走行します。各グループには経験豊富なガイドライダーを配置し完走までをサポート!  
また、万が一のメカニックトラブルなどに備えた体制も充実しているので初心者の方やイベント初参加の方でも安心してご参加いただけます!

エントリーは  
こちらから



# コース紹介



Googleマップでコースを確認する場合はこちらのQRコードを読み取ってください。



## 第1エイドステーション+体験スポット

### 兵庫県立丹波年輪の里

丹波並木道中央公園をスタートして最初に訪問するのは「兵庫県立丹波年輪の里」。普段は木工クラフトの他、親子で楽しめるわんぱく広場や芝生広場など自然の中で遊べる施設です！

エイドステーションでは地元、丹波柏原で80年以上の歴史を持つ明正堂の「餅あんパイ」と「恐竜の卵」をご提供。

今回は「木工クラフト体験」として「サイクルラック制作」と「木珠(きだま)作り」を楽しんでいただきます。



「餅あんパイ」はパイ生地「サクッと食感」と粒あんとお餅が一緒になった「モチっと食感」をお楽しみください！もちろん粒あんには丹波大納言小豆を使用！  
「恐竜の卵」は2006年に丹波竜の化石が発見されたことをきっかけに誕生！厳選栗が丸ごと一個入った恐竜の卵もぜひ堪能してください！

### サイクルラック制作

制作したサイクルラックは完成後に皆さんのお名前とイベント名を刻印して丹波地域の施設に寄付して使用していただきます。皆さんにご協力頂いたサイクルラックが丹波地域を訪れるサイクリストと地域の施設のお役に立ちます！（作業自体は簡単な軽作業をしていただきます）

※制作するサイクルラックは兵庫県産檜を使用します。

### 「木珠(きだま)作り」

木玉を使って皆さんのオリジナルの木珠を作ってお持ち帰りいただけます。



イベント参加の記念に是非！！

## 第2エイドステーション+体験スポット

### ゆめの樹食堂

2番目の訪問先はゆめの樹食堂で少し早めのお昼ごはん！



こちらで提供するメニューはゆめの樹食堂から「丹波栗おにぎり(1個)」と「丹波黒豆おにぎり(2個)」のセットと「丹波黒枝豆の塩ゆで」に加えて地元、栗きん豚吉吉から丹波栗を食べて育った豚(=丹波栗きん豚)を使用した豚まん「丹波栗きん豚まん」をお召し上がりいただけます！

### おはぎ作り体験

さらにお昼ごはんの後はデザート作り♪丹波大納言小豆を使用したおはぎ作り体験をしていただきます！もちろん、そのままデザートとしてお召し上がりいただけます！



## 第3エイドステーション

### 黒豆の館

お昼ごはんのあとに訪問するのは可愛い三角屋根が目印の第3エイドステーション「黒豆の館」こちらでは大人気の黒豆ソフトと丹波栗菓匠大福堂の黒豆大福を楽しんでいただけます！（甘いものは別腹なので大丈夫！？）



### 体験スポット たぶち農場

### 黒枝豆収穫体験

秋に丹波地域で絶対に外したくないコンテンツ「黒枝豆」♪今回は畑の中に入って収穫体験を行っていただきます！

収穫した黒枝豆はそのままお持ち帰りいただけます。

※不織布のシューズカバーをご用意しますが、ピンディングシューズの汚れなどが気になる方は履き替え用のシューズをお持ちいただく事をお勧めします。(クリートカバーもお持ちいただく事をお勧めします)

